

鹿児島市交通事業経営計画の実施状況 (令和7年度実績)

1. 総括表（令和7年度末時点）	．．．．．	P	2		
2. 計画期間における具体的な取組					
(1) 安全運行の推進	．．．．．	P	3	～	8
(2) 快適で便利なサービスの提供	．．．．．	P	9	～	13
(3) 経営基盤の強化	．．．．．	P	14	～	20
(4) 公営交通事業者としての役割を踏まえた事業推進	．．．	P	21	～	27
3. 目標指標達成状況	．．．．．	P	28		

交通事業経営計画の実施状況 総括表(令和7年度末時点)

		施策数	実施済(完了)のもの (◎)	実施中(継続中)のもの (○)	実施時期及び実施内容を 検討中のもの (△)
基本目標1 安全運行の推進		22	0	22	0
	(1) 運輸安全マネジメントの推進	3	0	3	0
	(2) 安全運行に向けた必要な人材の確保	3	0	3	0
	(3) 乗務員等の健康管理・人材育成	4	0	4	0
	(4) 施設・車両の適切な維持管理等	9	0	9	0
	(5) 先進安全技術の標準装備化	1	0	1	0
	(6) 災害等への対策	2	0	2	0
基本目標2 快適で便利なサービスの提供		13	2	11	0
	(1) 快適な車両空間の提供	3	0	3	0
	(2) 待合環境の整備	3	1	2	0
	(3) 利用者の利便性の向上	7	1	6	0
基本目標3 経営基盤の強化		26	3	23	0
	(1) 運行の効率化	4	3	1	0
	(2) 経費節減	6	0	6	0
	(3) 増収対策	10	0	10	0
	(4) 効果的な資産の活用等	4	0	4	0
	(5) 組織の活性化	2	0	2	0
基本目標4 公営交通事業者としての役割を踏まえた事業推進		20	0	18	2
	(1) 交通施策との連携	2	0	2	0
	(2) 観光施策との連携	5	0	4	1
	(3) まちづくり施策との連携	6	0	6	0
	(4) 地域社会に根ざした取組	7	0	6	1
計		81	5	74	2

1 安全運行の推進

(1) 運輸安全マネジメントの推進

施策 No.	計 画 掲 載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
1	P36	安全管理体制の確立等 日頃から危険要素の排除に努め、常に安全意識を高く持って業務に取り組むとともに、法令等に基づき、局の安全管理体制を確立し、輸送の安全の水準の維持及び向上を図ります。また、局が設置する運輸安全マネジメント委員会において安全重点施策を決定するなど、安全管理のマネジメントを行うとともに、毎年度、輸送の安全に関わる情報を公開します。		○	● 運輸安全マネジメント委員会、内部監査員養成研修会、内部監査、各事業課における研修会、訓練等を実施した。 ・運輸安全マネジメント委員会 第1回 令和7年4月30日開催 第2回 令和7年6月 3日開催 第3回 令和7年10月28日開催 第4回 令和8年3月27日開催 ・輸送の安全に関する公表 令和7年7月4日公表(局HP・掲示板) ・内部監査員養成研修会 令和7年8月28日開催 ・内部監査 令和8年1月29日実施 ・各事業課における研修会、訓練等 ＜電車事業課＞ 現任教養研修(50回)、消防局との合同研修(1回) など ＜バス事業課＞ 乗務員研修(5回)、運行管理者研修(1回)、 整備主任者技術研修(1回)、整備主任者等定期研修(1回) など	総務課
2	P36	ヒヤリハット情報等の収集・活用 重大な事故等には至らないが、その一歩手前の事例等を収集し、職員間で情報共有することによって、未然防止に努めます。また、ドライブレコーダーに記録された情報を迅速に確認するなど、事故処理・対応に活用するとともに、乗務員研修等にも積極的に活用します。		○	● ヒヤリハット事例を点呼時や毎朝ミーティングで情報共有し、事故の未然防止に努めた。 ● ドライブレコーダーの映像を迅速な事故処理・対応に活用したほか、全体研修等において、積極的に活用し、職員のより一層の安全意識の向上に努めた。	電車事業課 バス事業課
3	P36	重大な事故等への対応 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な措置をとるとともに、被害の拡大防止に取り組めます。また、事故等調査委員会において原因の調査究明等を行い、今後の再発防止を図るとともに、一定基準以上の事故等は、随時、情報を公開します。 [目標指数] 有責事故件数(電車、バス) (H30末)電車 10件/年、バス 30件/年 → (R13末)電車 0件/年、バス 17件/年 ※基準値(H30実績)から、計画期間において毎年度1件ずつ通減した値		○	【電車事業課】 ● 重大事故3件(車両脱線2件・車両衝突1件)及びインシデント3件(異線進入1件・開扉運転1件・信号冒進1件)が発生した。 【バス事業課】 ● 重大事故(車内転倒1件)が発生した。(※委託分) 【総務課】 ● 事故・トラブル情報を局HPに掲載した。 ・電車(41件):道路障害、車内転倒 など ・バス(1件) ● 事故等調査委員会 第1回 令和7年5月22日開催 第2回 令和7年8月8日開催 第3回 令和7年10月25日開催 第4回 令和8年1月15日開催 [目標指数の実績] 有責事故件数	電車事業課 バス事業課 総務課

	電車	バス	うち直営
R7	14件	19件	13件
R6	13件	23件	16件
増減	1件	-4件	-3件

(2) 安全運行に向けた必要な人材の確保

施策 No.	計 画 掲 載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
4	P36	運転士等の処遇改善 <R7新規> 路線の維持と安全運行を支える人材の定着を図るため、給与体系や勤務環境の見直しを含む処遇改善を継続的に進め、職員が安心して意欲的に働ける職場づくりに努めます。	○	● 人事院勧告に基づく給与改定及び局独自の処遇改善を実施した。 ● 公休日数増のため、勤務体制の見直しを実施した。	総務課	
5	P36	市電市バス運転士の確保 <R7新規> 路線の維持と安全運行を支える人材の安定確保に向けて、バスにおける令和9年度以降の委託路線の状況等を踏まえ、電車・バス運転士の採用を積極的に進めます。	○	● 市電市バス運転士を採用した。 【市電運転士(正規)】 合計:7名 令和7年6月1日付採用 1名 令和7年9月1日付採用 4名 令和8年2月1日付採用 2名 【市バス運転士(会計年度任用職員)】 合計:20名 令和7年4月1日付採用 4名 令和7年5月1日付採用 3名 令和7年6月1日付採用 1名 令和7年7月1日付採用 1名 令和7年8月1日付採用 1名 令和7年11月1日付採用 1名 令和8年1月1日付採用 3名 令和8年2月1日付採用 3名 令和8年3月1日付採用 3名	総務課	
6	P36	バス運転士正規職員の採用 <R7新規> 路線の維持と安全運行を支える人材の定着を図るため、バス運転士の正規職員の採用を行います。	○	● バス運転士を、正規職員として採用した。 令和7年4月1日付採用 7名	総務課	

(3) 乗務員等の健康管理・人材育成

施策 No.	計 画 掲 載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
7	P37	安全衛生管理の推進 定期健康診断等の結果が「要治療」の者等に対する健康指導や相談などの徹底により、乗務員等の健康維持を図るとともに、SAS(睡眠時無呼吸症候群)検査やメンタルヘルス対策、安全衛生委員が行う職場点検等を通じた快適な職場環境の形成を促進することで、安全輸送と事故防止に繋がります。 [目標指標] 健診結果が要治療等である者の健康相談への参加率 (H30末)63% → (R13末)100%	○	● 安全衛生委員会にて年2回(7月、10月)職場点検を行った。 ● 全職員(会計年度任用職員含む)を対象に定期健康診断を実施した。 ・実施時期：令和7年4月～令和8年3月 ・受診率：100%(318名受診) ・「要治療」等有所見者 84名 ● 定期健康診断の結果に基づき、毎月、健康相談を実施した。 ・上荒田局舎にて6回、新栄営業所にて5回、計11回実施した。 ● SAS(睡眠時無呼吸症候群)検査を令和7年10月9日から10月27日まで実施した。 (64名受診) ● ストレスチェックを令和7年10月1日から10月17日まで実施した。(319名受診) [目標指標の実績] 健診結果が要治療等である者の健康相談への参加率：86.9%(73名が参加) 対前年度増減：+25.2%[令和6年度実績：61.7%(74名が参加)]	総務課	

(3) 乗務員等の健康管理・人材育成

施策No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
		◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容を検討中のもの			
8	P37	職員研修の充実 快適な職場環境づくりや職員の資質向上等にむけた管理職員に対する職場のマネジメントや人材育成のための研修、電車・バス両事業課における組織横断的な連携・協力や整備部門での知識・技術の習得のための研修などを行います。	○	【総務課】 ● 研修計画に基づき、職員研修を実施した。 ・新任主査研修(主査昇格者のうち局採用職員が対象) - 令和7年8月18日実施 11名出席 【電車事業課】 ● 全国交通安全運動等によせた全体研修3回や課全体での警察、消防と連携したテロ対策合同訓練を実施した。 【バス事業課】 ● 全国交通安全運動によせた年4回の全体研修を実施したほか、外部研修として公営交通事業協会主催の「省エネルギー運転研修」及び「運行管理者研修」並びに茨城県の安全運転研修所の「旅客自動車(バス)運転者課程」に、それぞれ2名を派遣した。	総務課 電車事業課 バス事業課
9	P37	技術の承継 優れた運転技能や整備等に関する知識・経験やノウハウを次の世代に承継していくため、乗務員については、ドライブレコーダーの映像等も活用した研修を実施するとともに、必要に応じて、運転司令や運行管理者、マスタードライバーなどによる指導等を行います。また、整備や施設管理等においては、熟練者による指導はもとより、作業技術が確実に受け継がれるための仕組みづくりを検討します。	○	【電車事業課】 ● 全体研修において、安全統括管理者等が乗務員に対し、ドライブレコーダーを活用しながら事故削減に向けた指導を行った。 ● 熟練者等による研修を定期的開催し、整備士に対して整備マニュアルに沿った作業を行うよう指導するなど、技術の継承を図った。 【バス事業課】 ● 乗務員に対して、ドライブレコーダー映像を活用した研修や運行管理者による添乗研修を実施するなどの指導を行った。 ● 整備技術について、必要に応じて複数人で実施するなど、作業技術の共有化を図った。	電車事業課 バス事業課
10	P37	カスタマーハラスメント対策 <R7新規> 利用者等からの不当な要求や言動により職員の職場環境が損なわれることのないよう、局で整備している「カスタマーハラスメント対策の手引」に基づき、対応方針の周知や相談体制の整備など、組織的な取組を進めることで、職員が安心して業務に取り組める環境の確保を図ります。	○	● 「カスタマーハラスメント対策の手引き」を作成し、職員が安心して業務に取り組める環境の確保を図った。	総務課

施策No.	計画掲載	具体的な取組	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
11	P37	基盤設備の維持・向上 <R2拡充> 軌道や架線の設備について定期的に巡視、点検、検査を実施し、不具合箇所を速やかに補修するなど機能の維持に努めます。また、市電センターポールの水銀灯については、LED化を進めます(R6年度完了)。 [目標指標] センターポール照明のLED化 (R2末)20.4% → (R13末)100%	○	● 軌道や架線等の設備の定期的な巡視・点検、補修等を行った。 [目標指標の実績] センターポール照明のLED化：100.0% [489個/489個] (令和6年度に完了)	電車事業課
12	P37	老朽施設等の抜本的な整備 <R7新規> 電車の安全輸送のため、老朽化が懸念される施設・設備について計画的に抜本的な整備を行います。	○	● 併用軌道部軌道構造改良事業において、施工に向けた設計業務委託を実施した。 ● 渡り線その他分岐器更换事業において、分岐器の更换を実施した。 ・R7年度施工箇所:脇田渡り線分岐器 ● 併用軌道電車線柱及び電車線長寿命化事業において、施工に向けた設計業務委託を実施した。	電車事業課
13	P37	道路交差点内の軌道敷舗装の改修 道路交差点内の軌道敷舗装について、道路管理者と協議し計画的に損傷部の改修を行い、車両横断時の騒音及び振動の軽減に努めます。	○	● 交差点の舗装改修について、道路管理者(県)との協議を行い、軌道部に係る道路敷地の維持修繕に関する基本協定に基づき県の負担金を用いて工事を実施した。 ・R7年度施工箇所:騎射場交差点(併用軌道交差点改良事業に伴う軌道改良工事) ・協定内容:負担区分に応じた費用を県の負担にするもの(R7は県道区域について全額県負担)	電車事業課
14	P37	作業環境の効率性向上 車両整備や施設の維持管理を効率的かつ安全に行うため、旋盤等の整備機器を計画的に更新し、作業の精度と効率性を高めます。	○	【電車事業課】 ● これまで外部委託で実施していた車軸探傷検査について、令和3年度に車軸超音波探傷器を購入するとともに、資格保有者が直営で検査できる体制やマニュアルを整備し、4年度から直営での検査を実施している。 (58両/年 → 20両/年の重要部・全般検査で実施した) ● 令和4年度に納入した高所作業車(令和2年度契約)を引き続き、運用した。 【バス事業課】 ● 作業環境の向上への取組として、熱中症対策でスポットクーラーを購入・活用した。	電車事業課 バス事業課
15	P38	車内の安全性向上 車内での事故を未然に防止するための乗務員研修・教育の充実を図るとともに、車内転倒事故などの防止について利用者に啓発を行います。また、安全性向上のために市電の車内に握り棒の設置を進めるほか(R4年度設置完了)、濡れるとすべりやすくなる心血やステップなど隠れた車内の危険を改めて洗い出し、その解消に向けて取り組みます。 [目標指標] 電車車内握り棒の設置 (H30末)15両 → (R13末)46両	○	【電車事業課】 ● 外部講師を招聘し、車内事故防止についての乗務員研修を実施した。 [目標指標の実績] 電車車内握り棒の設置：100%[46両/46両] (令和4年度完了) 【バス事業課】 ● 車内事故防止について、乗務員研修の実施等行ったほか、バス車内通路床面に利用者に対する注意喚起のシールを貼付するなど、事故防止に努めた。 ● 引き続き、バス車内事故防止に関する利用者及びドライバーへのお願い事項を局ホームページ等に掲出した。	電車事業課 バス事業課

(4) 施設・車両の適切な維持管理等

施策 No.	計画 掲載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
16	P38	北営業所施設の維持・補修　＜R2拡充＞＜R3見直し＞ 北営業所施設を長期的に使用可能なものとするため、令和元年度に実施した同施設に係る耐震診断の結果等に基づき、必要な補修を行うとともに、保全に向けた点検等を行います。	○	● 北営業所施設について、必要に応じて補修を行った。	バス事業課	
17	P38	併用軌道横断歩道の舗装改修　＜R3新規＞ 併用軌道の横断歩道について、横断する歩行者等の安全確保のため、老朽化の著しい舗装の計画的な改修に努めます。	○	● 併用軌道横断歩道の舗装の改修工事を実施した。 ・R7年度施工箇所:いづろ交差点	電車事業課	
18	P38	電気設備等の更新　＜R3新規＞ 電車の走行の安全を確保するため、老朽化した変電所や操車塔等の計画的な更新に努めます。	○	● 高見馬場交差点及び郡元電停交差点に設置されている操車塔について、令和9年度以降の更新に向け実施計画の策定に取り組んだ。 ● 老朽化した脇田変電所の更新に向け、計画に基づいて取組を進めた。	電車事業課	
19	P38	電車車両の長寿命化　＜R3新規＞ 電車の車両については、定期的に検査・修繕等を行うことはもとより、経年劣化が著しく、入手困難な部品が生じている装置等について、軽量化・省電力化されたものに年次的に更新し、効率的な維持管理に取り組むことにより長寿命化を図ります。	○	● 令和3年度より実施している2110～2140形9両のVVVF制御装置(モーターを制御して速度を調整するための装置)を令和6年度までに対象車両9両中8両更新したが、7年度の更新はなかった。 ・事業完了予定　令和8年度	電車事業課	

(5) 先進安全技術の標準装備化

施策 No.	計 画 掲 載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
20	P38	運転支援システムの導入・運用 <R7新規> 運転士をバックアップする(運転支援)システムを導入し、車両衝突等の事故防止を図るとともに、乗客及び歩行者、自動車の安全を確保します。	○	● 運転支援システムを全車両(57両)に設置し、運用を開始した。	電車事業課	

(6) 災害等への対策

施策 No.	計 画 掲 載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
21	P38	対応マニュアル等の整備や訓練等の実施 災害等が発生した場合に備えて、乗務上での的確な対応やより早期の事業再開を図るための初動対応マニュアル等を整備するとともに、具体的な事例を想定した災害復旧訓練や防災訓練等に取り組みます。	○	● 人事異動に伴い、災害対策要員の配備等マニュアル、災害対策配備要員名簿(連絡網)、通常業務優先区分表(旧業務継続計画)等の整備を行った。 ● 市災害対策本部における各種訓練等の参加や局内において研修を実施した。 ・桜島火山爆発総合防災訓練 ・災害対策本部設置訓練 ・緊急地震速報対応訓練(Jアラート) など	総務課	
22	P38	感染症対策 <R3新規> 感染症等の予防対策と拡大防止対策に取り組みます。	○	【総務課】 ● 感染状況に応じて職員向けに感染防止対策の徹底について通知を行った。 ● 庁舎入口や執務室入口に手指消毒液を設置し感染防止に努めた。 ● インフルエンザ予防接種に係る費用の助成を行った。 (対象を電車事業課・バス事業課⇒全職員に拡大) 【電車事業課】 ● 感染症対策として、引き続き車内換気や消毒を実施した。 【バス事業課】 ● 感染症対策として、引き続き事務所入口や休憩所等に手指消毒液を設置し、感染防止に努めた。	総務課 電車事業課 バス事業課	

2 快適で便利なサービスの提供

(1) 快適な車両空間の提供

施策 No.	計 画 掲 載	具体的な取組	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課																																		
		◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの																																					
23	P39	低公害・低床型車両の運行 引き続き、超低床電車や低公害低床型バスを運行することにより、全ての利用者が快適に利用できる環境を提供します。なお、車両を更新する必要が生じた場合には、原則、低公害・低床型の車両を選定することとします。 [目標指標] バリアフリー対応車両の割合(電車、バス) (H30末)64.3% → (R13末)74.2%	○	【電車事業課】 ● 各系統において、約4本に1本の割合で、低床車両を運行した。 【バス事業課】 ● 小型バス1両について、低公害低床型の車両に更新した。 ● 一部の小型バスを除き、全車低床バスで運行した。 ※在籍バス135両中、117両が低床バス、1両がリフト付大型貸切バス [目標指標の実績] バリアフリー対応車両の割合 (令和8年3月31日時点) <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">電車</th><th colspan="2">バス</th><th colspan="2">合計</th></tr><tr><th>車両数</th><th>対応率</th><th>車両数</th><th>対応率</th><th>車両数</th><th>対応率</th></tr><tr><td>R7</td><td>17/55両</td><td>30.9%</td><td>118/135両</td><td>87.4%</td><td>135/190両</td><td>71.1%</td></tr><tr><td>R6</td><td>17/55両</td><td>30.9%</td><td>117/135両</td><td>86.7%</td><td>134/190両</td><td>70.5%</td></tr><tr><td>増減</td><td>なし</td><td></td><td>1両</td><td></td><td>1両</td><td></td></tr></table>		電車		バス		合計		車両数	対応率	車両数	対応率	車両数	対応率	R7	17/55両	30.9%	118/135両	87.4%	135/190両	71.1%	R6	17/55両	30.9%	117/135両	86.7%	134/190両	70.5%	増減	なし		1両		1両		電車事業課 バス事業課
	電車		バス			合計																																	
	車両数	対応率	車両数	対応率	車両数	対応率																																	
R7	17/55両	30.9%	118/135両	87.4%	135/190両	71.1%																																	
R6	17/55両	30.9%	117/135両	86.7%	134/190両	70.5%																																	
増減	なし		1両		1両																																		
24	P39	乗務員等の接客マナーの向上 乗務員等の接客サービスの均等化と向上を図るため、接客マナーに関する研修を定期的に実施します。	○	【総務課・電車事業課・バス事業課】 ● 電車事業課、バス事業課の乗務員を対象に外部講師を招聘し接客・マナーについての研修を実施した。 ・令和7年11月19日、11月20日実施 62名出席 【電車事業課】 ● 接客及び接客に関する項目を入れた研修を年3回実施した。 【バス事業課】 ● 年4回開催する乗務員研修時に、接客接客に関する内容の研修を行ったほか、運行管理者等による添乗指導等を実施し、接客マナーの向上に努めた。	総務課 電車事業課 バス事業課																																		
25	P39	利用者へのマナー啓発 <R3拡充> 利用される方々が快適に過ごせる車内環境となるよう、車内における迷惑行為防止や混雑時のゆずりあい等のマナー向上のほか、咳エチケット等、感染症拡大防止策について、乗務員等によるアナウンスや車内への啓発ポスターの掲示、マナーアップ期間の設定など、利用者への更なる啓発に努めます。	○	【経営課】 ● 市内の小中学生を対象とした乗車マナーポスターコンテストを開催し、入賞作品を市電・市バス車内等に掲示したほか、局のHPで公開した。 [掲示期間] 令和8年1月23日～6月30日 ● 全国から作品を募集した市電・市バス「川柳&標語」コンテストを開催し、入賞作品を市電・市バス車内等に掲示したほか、局のHPで公開した。 [掲示期間] 令和8年1月23日～6月30日 【電車事業課・バス事業課】 ● 音声合成による車内放送、乗務員による車内アナウンス及びポスター掲示等により利用者への乗車マナー啓発を行った。 ● 電停・車内等に子連れ客への配慮に関するポスターを掲出した。	経営課 電車事業課 バス事業課																																		

(2) 待合環境の整備

施策 No.	計 画 掲 載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
26	P39	市電停留場等の改修 老朽化した市電停留場等の上屋を改修するとともに、歩道の幅員等について一定の基準を満たした市バス停留所へのベンチ設置を進めるなど、待合環境の向上に努めます。また、車いすでの利用が難しい停留場については、国・県への働きかけ等を継続しながら、道路改良工事等の機会を捉えて道路管理者との協議を行い、幅員の拡幅に努めます。	○	【電車事業課】 ● 停留場の拡幅に向けて、道路管理者との協議を行った。 【バス事業課】 ● 玉江橋バス停の上屋の建て替えや、県庁西バス停にソーラー照明付き標識の設置を行ったほか、バス停の上屋補修を行うなど、待合環境の改善を図った。	電車事業課 バス事業課	
27	P39	電子看板(デジタルサイネージ)の導入 <R2新規> 市電停留場に、路線や時刻表のほか、走行している車両の位置や低床型などの種類、事故等による緊急情報等を、映像等を通して多言語で提供する電子看板(デジタルサイネージ)の整備を検討します。また、バス停留所については、県バス協会や市内を運行する民間バス事業者との連携を図り、市街地中心部の共同バス停への整備に取り組みます。(R5年度 バス停留所整備済)	○	【総合企画課・電車事業課】 ● 実現可能な事業手法や事業効果等について検討を行った。 【バス事業課】 ● 令和5年度に県バス協会が主体となって、天文館バス停に2基目のデジタルサイネージを設置し、令和6年3月に運用を開始している。	総合企画課 電車事業課 バス事業課	
28	P39	鹿児島駅前停留場の整備 <R2拡充><R3完了> 鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業によるJR鹿児島駅舎建替えにあわせて、交通結節の機能強化と利便性の向上を図るため、鹿児島駅前停留場について、バリアフリーに対応した拡幅や上屋及び軌道施設整備、電気設備の改良等に取り組みます。	◎	● 令和3年度完了	電車事業課	

(3) 利用者の利便性の向上

施策 No.	計 画 掲 載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
29	P40	キャッシュレス運賃決済の導入検討 ＜R2拡充＞ 民間のバス事業者と連携して導入した独自のIC乗車カード「ラピカ」の機器等の老朽化や、交通系ICカード全国相互利用サービスに関する要望への対応等を図るため、技術革新が進む様々なキャッシュレス運賃決済の導入やICTの更なる活用など、今後の運賃決済のあり方について検討します。		○	● 市電・市バス運賃決済のキャッシュレス対応としてクレジットカードタッチ決済を運用するとともに、8月から新たなカードブランドとして「Mastercard」を追加したほか、利便増進策について関係業者と協議を行った。 ・令和7年度利用実績 市電（R7.4/1～3/31） 延べ 1,379,393人 233,812千円 市バス（R7.4/1～3/31） 延べ 377,319人 86,380千円 合計 延べ 1,756,712人 320,192千円 ● 市から交通事業者による新たなキャッシュレス決済の導入を支援する方針が示されたことを受け、令和8年度における市電・市バスへの二次元コード決済の導入に向け、8年度当初予算に関連事業費を計上した。	総合企画課

(3) 利用者の利便性の向上

施策No.	計画掲載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課																		
30	P40	モバイルパスの導入・拡大 ＜R2新規＞＜R3拡充＞ 従来の紙製の乗車券に加え、「スマホー日乗車券」など、利用者が自身のスマートフォン等で購入し利用することができる「モバイルパス」を導入(R2年8月 スマホー日乗車券販売開始)し、その対応乗車券の拡大を進めます。また、九州MaaSの取組を通じて、他事業者と広域的に連携したデジタルチケットの造成について、研究します。 [目標指標] モバイルパス販売枚数 (H30末)販売無し → (R13末)17,000枚/年		○	● 現在導入しているモバイルパスについて、市が発行する情報誌(鹿児島市いまどき情報)への掲載及び局SNSを活用するなど、幅広く周知・広報を行い、利用者の増を図った。 ● JR九州と連携して、JR普通列車(鹿児島中央～仙巖園駅)・市電・市バス・シティビューが1日乗り放題となる「JR・市電・市バス・シティビュー乗りまわレールきっぷ」をモバイル限定で発売した。 【アプリ：乗換案内(ジョルダン(株))】 ・利用できる路線：市電・市バス・カゴシマシティビュー ・券種 1.スマホー日乗車券(令和2年8月1日導入) 価格：大人 600円、小児 300円 2.スマホ24時間乗車券(令和3年8月1日導入) 利用開始から24時間利用可能 価格：大人 800円、小児 400円 3.ナイトバス(令和4年7月1日導入) 利用当日17時から終電・終発便まで利用可能 販売及び利用時期：3～4月、7～8月、12～1月 価格：大人 300円(大人のみ) 4.鹿児島ユナイテッドFCホームゲーム限定市電一日乗車券(令和6年9月2日導入) ※市電のみ利用可能 価格：大人 250円、小児 120円 【アプリ：my route(トヨタファイナンシャルサービス㈱)】 1.市営バス・電車・バス・フェリー共通利用券(モバイル版CUTE)(令和6年10月1日導入) 価格：(一日券)大人 1,300円、小児 650円 (二日券)大人 1,900円、小児 950円 2.JR・市電・市バス・シティビュー乗りまわレールきっぷ(令和8年3月14日導入) 販売及び使用期間：令和8年3月14日～令和8年7月31日 価格：大人 1,000円、小児 500円 [目標指標の実績](令和7年度) モバイルパス販売件数 計17,704枚 スマホー日乗車券 9,476枚 スマホ24時間乗車券 2,280枚 ナイトバス 1,019枚 ユナイテッド 3,419枚 モバイル版CUTE 1,490枚 乗りまわレールきっぷ 20枚(令和8年3月14日販売開始) 対前年度増減：+3,811枚 [令和6年度実績：13,893枚 ※my route分を除く] ● 現行のラピカ定期券に加え、スマートフォンのアプリ内で購入や利用ができるモバイル定期券を発売し、利便性向上を図った。 ・令和6年9月17日販売開始(10月1日利用開始) ＜令和7年度販売実績＞ <table><tr><th></th><th>通学</th><th>通勤</th><th>利用日限定</th><th>シニア</th><th>合計</th></tr><tr><td>電車</td><td>821件</td><td>3,868件</td><td>2,930件</td><td>63件</td><td>7,682件</td></tr><tr><td>バス</td><td>1,102件</td><td>1,480件</td><td>1,325件</td><td>37件</td><td>3,944件</td></tr></table>		通学	通勤	利用日限定	シニア	合計	電車	821件	3,868件	2,930件	63件	7,682件	バス	1,102件	1,480件	1,325件	37件	3,944件	経営課
	通学	通勤	利用日限定	シニア	合計																			
電車	821件	3,868件	2,930件	63件	7,682件																			
バス	1,102件	1,480件	1,325件	37件	3,944件																			

(3) 利用者の利便性の向上

施策 No.	計画 掲載	具体的な取組	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
31	P40	観光おもてなしピカの発売 <R2新規><R3見直し> 令和5年に「特別国民体育大会」開催を控えるなど、コロナ禍収束後の交流人口等の回復を見据え、県外からの訪問者が快適に市電・市バスを利用できるよう、既存のICカードを再利用し、回数券機能だけを有し、本市来訪の記念に持ち帰ることもできるデポジット(保証金)なしのIC乗車カード「観光おもてなしピカ」を発売します。	◎	● 令和5年度完了	経営課
32	P40	ロケーションシステムの運用 利用者が自身のスマートフォン等を用いて、運行中の市電・市バスの路線情報、時刻表及び車両位置情報等を多言語で検索し閲覧することができるロケーションシステムを運用することで、目的地への移動の支援、インバウンド対応及び待ち時間の負担軽減等を図ります。	○	【総務課】 ● 令和2年1月1日に本格運用を開始したロケーションシステムの運用を行うとともに、ダイヤ改正等に応じてデータの修正等を行った。 <利用者向けアプリ> ・MOKUIKU：経路・料金検索(多言語対応) ・PINA：市電・市バスの位置情報 ・楽PINA：登録停留場(所)への接近情報 <対象車両(令和8年3月31日現在)> ・市電：55両 ・市バス：124両 【電車事業課】 ● 電車運行情報システムと併用してロケーションシステムを運用することで、より正確な運行情報を把握し、運行管理に活用した。 【バス事業課】 ● 引き続きロケーションシステムを運用するとともに、電話等による遅延運行の問い合わせには、システムにより運行状況を確認し迅速に対応した。	総務課 電車事業課 バス事業課
33	P40	多様な媒体を通じた情報発信 <R2拡充><R3拡充> SNS等各種情報媒体の特性を生かした情報発信に努めます。特にX(エックス)やLINEを活用して、災害や事故発生時等の運行情報をリアルタイムで発信するほか、YouTubeを活用して、動画による情報発信に取り組みます。さらに、ホームページの外国人向けの内容を見直し、観光客のほか、在住外国人への情報発信を強化します。	○	● 局公式X(旧ツイッター)や鹿児島市公式LINEを活用し、災害や事故発生等の運行情報についてリアルタイムでの発信を行ったほか、局公式YouTubeチャンネルにて、クレジットカードタッチ決済の解説等、2本の動画を配信し、局の取組に関する情報提供や新たなファンの獲得に努めた。 <X(旧Twitter)> ・開設：令和2年8月1日 ・フォロワー数：9,127人(令和8年3月31日時点)【前年度比+907人】 ・ポスト数：86ポスト【前年度比▲14ポスト】 <YouTube> ・開設：令和2年12月1日 ・チャンネル登録者数：1,331人(令和8年3月31日時点)【前年度比+134人】 ・配信動画本数：2本(令和7年度)【前年度比+0本】 <LINE> ・開設：令和4年1月4日 ・登録者数:市全体119,064人、市電5,692人、市バス5,720人(令和8年3月31日時点) 【前年度比】市全体 +6,588 市電+6141人 市バス+568人 (前年度)市全体 112,476人 市電5,106人、市バス5,152人 ・配信件数：0件【前年度比-11件】	総合企画課 総務課

(3) 利用者の利便性の向上

施策 No.	計画 掲載	具体的な取組	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
		◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容を検討中のもの			
34	P40	オープンデータの提供 <R2新規> 市電・市バスの時刻、路線等の情報について、「標準的なバス情報フォーマット」に準拠するデータ(GTFS-JPデータ等)を整備し、乗換案内等を行っている事業者に提供することで、観光客、インバウンド向けも含めた市電・市バス利用者の利便性向上を図ります。	○	● 引き続き、市バスの運行データについて、国が指定する標準様式であるGTFS-JPデータを作成し、Googleへ提供したほか、他の経路検索事業者等が利用できるように、鹿児島市オープンデータに掲載した。 ・ダイヤ改正に伴うデータの更新(令和8年2月1日付市バスダイヤ改正)	総務課
35	P40	交通局モニターのさらなる活用 <R2拡充> 交通局モニターを設置し、様々な意見等を継続的に把握することで、輸送サービスの向上を図ります。また、外国人からの視点で輸送サービス改善等に関する意見等を把握するため、新たに、本市に居住する外国人を対象とする枠を創設します。	○	● 令和7年度モニター15名のうち、外国人は0名 関係機関等にも依頼したが応募はなかった。 ・モニター通信提出件数(令和7年度モニター実績)：53件 ※R8.4.9現在 (参考)モニター通信提出件数(令和6年度モニター実績) ：61件(うち、外国人からの提出1件)	総務課

3 経営基盤の強化

(1) 運行の効率化

施策 No.	計画 掲載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
36	P41	路線、ダイヤ等の見直し <R3見直し><R7見直し> 本市における地域公共交通ネットワーク再構築の方針等を踏まえるとともに、運転士の確保状況も考慮しながら、令和6年10月に導入したバス運行データ分析システムを活用し、効率的、効果的な路線・ダイヤ等の見直しを行います。		○	【電車事業課】 ● 輸送人員がコロナ前の水準まで回復していることから、令和4年4月1日改正の現行ダイヤを維持しながらも、多客時においては増便、増車等に対応することで、利用者への影響ができるだけ小さくなるよう配慮しながら運行を行った。 【バス事業課】 ● 各路線の状況をもとに、バス運行データシステムを活用するとともに、データに基づく事業者からの提案を踏まえ、令和7年7月20日に路線・ダイヤの見直しを実施した。 (1) 路線の見直し ①11番線の路線分割 ②16番線の路線分割 (2) 便数・ダイヤの見直し ・平日:7路線(1・3・4・5・8・12・18番線)の計22便減 ・土日:5路線(3・4・5・8・12番線)の計18便減 ● 各路線の状況を踏まえながら、バス運行データシステムの活用や利用者からの意見をもとに、令和8年2月1日に利用状況等に応じた便数・時刻の見直しや遅延が多い路線の時刻の見直しを実施した。 (1) 利用状況に応じた便数・時刻等の見直し ・平日:7路線(1・3・4・5・8・20・31番線) ※各路線で1～2の増減便があるが、総便数に変更なし ・土日:変更なし (2) 運行状況に応じた時刻の見直し ・平日:1路線(24番線) ・土日:2路線(20・24番線)	電車事業課 バス事業課
37	P41	共同運行の効率化等の検討 <R3完了> 民間事業者との共同運行については、路線の移譲に伴いその一部を解消しましたが、継続している路線については、効率化する方策等を協議・検討します。		◎	● 令和3年度完了	バス事業課
38	P41	バス車両の再配置 <R2完了> 市バスの一部路線の移譲に伴い、運行に必要な車両数が減少することから、効率的な運行管理を行うため、新栄営業所に車両を集約します。		◎	● 令和2年度完了	バス事業課
39	P41	定期観光バスの見直し <R3見直し> 個人旅行や小グループでの自家用車等を利用した旅行の増加など、定期観光バスのニーズの低下を踏まえ、事業を廃止し、経費削減を図ります。		◎	● 令和3年度廃止	総合企画課 バス事業課

(2) 経費節減

施策 No.	計 画 掲 載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
40	P41	北・桜島営業所の管理の委託の実施　＜R7見直し＞ 運行経費の削減を図るため、引き続き、北・桜島営業所の管理の委託を実施します。合わせて、安全運行や利用者サービスの維持・向上に資するため、継続的に指導・監督を行い、受託者の業務改善を促します。なお、令和9年度以降については、管理の委託終了に伴う直営での運行管理も含めて検討します。	○	● 令和7年度においても、引き続き管理の委託を実施し、経費節減を図った。 ・委託期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日 ・委託路線：10路線（北営業所管内）、2路線（桜島営業所管内） ・委託事業者：南国交通株式会社 ● 受託者に対し、乗務員研修等の機会を捉えて指導・監督を実施した。	バス事業課	
41	P41	人件費の抑制 業務・組織体制の見直しや運行の見直し等による業務量の変動に応じ、適正な人員配置を行うとともに、関係部局と協議し、人事交流を行います。また、職員の退職等に対しては、正規職員のほか、再任用職員及び会計年度任用職員の採用により補充を行い、業務量に対する欠員が生じないように人員を配置します。併せて、業務の効率化及び見直しを行うことで、時間外勤務手当等の縮減を図ります。	○	● 給与と改定や人員増の影響等により、前年度から増加した。 ・令和7年度人件費　2,605,512,588円 対前年度増減：+ 301,908,908円〔令和6年度実績：2,303,603,680円〕	総務課	
42	P41	部品の再利用や直営施工等の活用 電車・バス車両の更新時に生じる互換性のある部品等の再利用に努めるとともに、車両の検査や修繕等の作業のうち局内で安価に対応できるものは直営で実施するなど、今後とも費用対効果を勘案し、修繕費等の縮減に努めます。	○	【電車事業課】 ● 電車の窓ガラス研磨(17両)、車軸探傷検査(100本)について、業者へ業務委託せず局職員で行うことにより、経費縮減を図った。 【バス事業課】 ● 廃車した車両の利用可能な部品を、再利用することに努めた。	電車事業課 バス事業課	
43	P41	施設等長寿命化計画の推進 建築物や軌道事業、自動車運送事業に係るインフラ等に関して、中長期的な維持管理、更新等に係るトータルコストの縮減、予算の平準化を目指し、施設等長寿命化計画を推進します。	○	● 鹿児島市交通局施設等長寿命化計画推進委員会及び幹事会を開催し、「鹿児島市交通局施設等長寿命化計画」の推進、進行管理を行った。 ・長寿命化計画推進委員会開催実績：1回(令和7年10月7日) ・長寿命化計画推進委員会幹事会開催実績：1回(令和7年10月16日) ● 第2期鹿児島市交通局施設等長寿命化計画を策定した。	総務課	
44	P42	光熱水費など管理経費の縮減 全職員に経費節減意識を徹底することにより、ゼロカーボンシティがごしま推進計画の数値目標に準じて、光熱水費及びコピー用紙使用量の縮減に努めます。	○	【総務課】 ● 局舎及びバス整備工場の電力供給については事前の入札参加意向がなかったことから、九州電力株式会社の新標準料金での契約を行った。 【経営課】 ● 市の節電対策を踏まえ、局独自の節電対策を各課に依頼した。 ・冷房の設定温度、空調の運転時間短縮の徹底 ・始業前、昼休み及び離席時等の消灯を徹底 ・コピーの使用枚数の削減　など	総務課 経営課	

(2) 経費節減

施策 No.	計画 掲載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
45	P42	エコドライブの徹底 バスにおけるアイドリングストップ等の活用や、電車における情行運転の徹底により、エコドライブに努め、燃料費や電力使用量の削減を図ります。		○	【電車事業課】 ● 専用軌道において指定した場所や交差点の手前、対向車両との離合時に、ノッチオフによる情行運転を行った。 ※ノッチオフ：電車の運転において、設定した速度に到達した時点で電車の加速をやめる制御 【バス事業課】 ● 乗務員研修や点呼時に、あらためてアイドリングストップ等の必要性を促し、乗務員一人ひとりの意識改革に繋がるよう周知を図った。	電車事業課 バス事業課

(3) 増収対策

施策 No.	計画 掲載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
46	P42	運賃の見直し <R2新規><R3見直し><R7見直し> 市電が本市のまちづくりと市民生活を支える公共交通機関としての役割を担い、人員の確保や老朽化した施設・設備の整備等により安全かつ安定的な運行を維持するとともに、増便等の利便性向上も講じながら、将来にわたりサービスを安定して提供し続けるため、令和8年8月に運賃改定を行います。 また、計画期間中に、市電・市バスとも、資金や収支状況を踏まえながら適宜運賃についての検討を行います。		○	● 令和8年8月の市電運賃改定に向けて、令和8年第1回市議会定例会に条例改正議案及び関連予算案を提出し、議決されたほか、各種乗車料金の見直しや国への認可申請手続等に取り組んだ。	総合企画課
47	P42	企画乗車券の価格等の見直し <R2新規><R3見直し> キュート等の企画乗車券や夏休み子供乗車券について、運賃改定のほか、利用状況や収支状況等も踏まえ、販売価格や内容を見直します。		○	● 令和8年8月1日の市電の運賃改定に伴う企画乗車券の販売価格の見直しを検討した。	経営課
48	P42	広告収入の拡大 訴求効果が高く、魅力ある媒体を新たに企画・提供するとともに、機会を捉えて期間限定の広告料割引キャンペーンを実施するなど、広告主の掲出意欲を高めるほか、既存媒体の料金見直し等により、広告収入の拡大を図ります。 [目標指標] 車体広告の年間稼働率 (H30末)72.3% → (R13末)90.0%		○	● 新規媒体設定等の参考とするため、指定広告取次人との意見交換を行った。 - 意見提出：11社／20社 (主な意見) - 広告割引キャンペーンの継続希望 - 新規広告媒体の提案 ● 車体広告等、各種媒体提出促進のため、割引率拡大等のキャンペーンを実施した。 [目標指標の実績] 車体広告の年間稼働率：89.1% (令和8年3月31日時点) 対前年度増減：5.7% [令和6年度実績：83.4%]	経営課

(3) 増収対策

施策 No.	計 画 掲 載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
49	P42	広告媒体の価値向上 <R2新規> 老朽化している広告枠の建替や補修等を実施し、広告媒体としての価値を高めるほか、全ての広告媒体をまとめた資料を作成し、営業活動に活用します。	○	● 広告媒体をまとめた市電・市バスメディアガイドを作成し、交通局ホームページに掲載して、営業活動に活用した。 ● 新たな広告媒体として、1000形3両に1基ずつ、計3基の電車車内広告用デジタルサイネージを導入し、令和8年4月1日から運用を開始した。	経営課	
50	P42	観光業界との連携による乗車券等の販売推進 <R3見直し> 観光コンベンション協会等と連携した利用促進PRに努めるとともに、ホテル等を対象に、一日乗車券等の販路拡大や販売推進に取り組みます。	○	● 市内のホテルや旅行代理店などでの一日乗車券等の委託販売により、販売推進を図った。 ・総委託販売店数：94件(令和8年3月31日時点) ・総委託販売実績：161,636,480円 対前年度増減：+12,850,970円[令和6年度実績：148,785,510円] ● 鹿児島市観光サイト「かごしま市観光ナビ」に、シティビューや利便性の高い「一日乗車券」の情報等を掲載した。	経営課	
51	P42	グッズ販売の推進 <R2拡充><R3拡充> 交通局のイメージアップと市電・市バスの利用促進等を図るため、オリジナルグッズの製作・販売等を行うとともに、新たな販路拡大や局のマスコットキャラクター(バスでん仮面)の活用、グッズに触れられる場の提供等に取り組み、販売推進や局のPRを行います。	○	● 九州レイルウェイフェス(熊本アミュ広場)、かごしま乗り物×MaaSフェスタ2025(鹿児島アミュ広場)、カーボンニュートラルフェアinかごしま(カクイックス交流センター)などでオリジナルグッズの出張販売を行い、県内外からの来場者に市電・市バスの魅力を広めた。また、オリジナルグッズ購入者に「すべらないシート」や、局オリジナルカレンダーの配付を行った。 ・オリジナルグッズ販売実績(R7年度) 販売額：2,557,000円 対前年度増減 +732,200円(R6年度実績：1,824,800円) (オリジナルグッズ(一部)) ・トートバッグ3種(運賃箱・料金表・Tsunagu) ・オリジナルTシャツ(電車・バス) など	経営課	
52	P42	インターネット等を活用した車両部品等の売却 <R2新規> 老朽化等により不要となった市電・市バスの車両部品や備品等について、インターネット等を活用して売却し、増収を図ります。	○	● 官公庁オークションに参加し、方向幕やデジタル運賃表示器を売却したところ、380,950円の売上高となった。 ・令和7年度販売実績 せり売り合計額：380,950円(参考：令和5年度 119,600円、令和6年度 44,600円) システム使用料：30,391円(参考：令和5年度 9,568円、令和6年度 3,568円) 収益額：350,559円(参考：令和5年度 110,032円、令和6年度 41,032円)	経営課	
53	P43	イベント時などの臨時運行 サマーナイト大花火大会をはじめとする各種イベント等の集客状況の把握に努め、臨機応変に増車の対応を行うことにより増収を図ります。	○	【電車事業課】 ● イベント情報等の収集に努め、適宜、増車対応等を行った。 ※サマーナイト花火大会、おはら祭については、臨時運行(コース、ダイヤ変更)で対応 【バス事業課】 ● イベント情報等を早期に収集し、関係課及び施設等と密に連携を図りながら、増車対応等を行った。 ・サマーナイト大花火大会時の増便運行 66便 3,555名 ・鹿児島マラソン臨時シャトルバスの運行 20便 673名 ・市民文化ホール増車 76便 3,893名	電車事業課 バス事業課	

(3) 増収対策

施策 No.	計画 掲載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
54	P43	貸切運行等の促進 <R3拡充> 公的機関、企業等とのタイアップや季節に応じた企画など、市電・市バスの車両を活用した貸切運行等の促進に向けて、イベント企画事業者等に重点的に周知・広報するほか、車両の利用モデルの拡充に取り組みます。また、局ホームページに貸切利用予約申込フォームを構築します。(R6年度 構築済) [目標指標] 貸切バスの利用件数 (H30末)462件/年 → (R13年度末)465件/年		○	【経営課】 ● 貸切バスについては局ホームページから予約できる利用予約申込フォームの運用を引き続き行い、貸切電車については令和7年4月から運用を開始し、申込手續の利便性向上に取り組んだ。貸切バスについては、各局・市職労・市議会議員・市内各学校に文書で協力依頼を行い、利用促進を図った。 ・主な営業先(直接訪問・文書送付等) 各局(各課)、市内小・中・高校、旅行代理店、県庁(県職労、高校教育課、特別支援課) 【電車事業課】 ● 令和7年度より予約申込フォームの運用を開始した。 ・予約申込フォームからの申込件数:17件 (参考)貸切電車の利用件数:155件(令和8年3月31日時点) 対前年度比:△4件[令和6年度実績 : 159件] 【バス事業課】 ● 令和5年4月から、貸切バス運行における予約申込フォームの運用を開始している。 ・予約申込フォームからの申込件数:51件 [目標指標の実績] 貸切バスの利用件数 : 275件(令和8年3月31日時点) 対前年度増減 :+44件 [令和6年度実績 : 231件]	経営課 電車事業課 バス事業課
55	P43	資金対策 <R3新規> 特別減収対策企業債の償還を行いながら、各種補助金、長期借入金や企業債等の情報収集及び活用を行い、持続可能な経営基盤の確立を図ります。 [目標指標] 資金不足比率 (H30末)0%以下 → (R13年度末)20%未満		○	● 元金及び利子の償還を行った。また、令和6年度に創設された交通事業債(経営改善推進事業)について借り入れを行った。 ・特別減収対策企業債(2～5年度借入額 904,400千円、償還額:元金62,712千円、利子10,586千円) ・交通事業債(6～7年度借入額 644,900千円、償還額:元金(10年度から償還開始)、利子:457千円) ※償還額は、7年度までの累計額 [目標指標の実績] 7年度資金不足比率:-5.6% 対前年度増減 :-6.4% [令和6年度実績 : 0.8%]	経営課

(4) 効果的な資産の活用等

施策 No.	計 画 掲 載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課																			
56	P43	路線移譲に伴う資産の処分等 市バスの一部路線の移譲により使用しなくなる車両や土地等の資産については、民間事業者の路線維持にも配慮しながら、関係法令に即し、貸付や売却等を行います。	○	● 回転用地として使用していない土地について一般競争入札を行った。 ・原良団地バス回転用地の売却(66,000千円)	経営課																				
57	P43	浜町車庫(旧浜町営業所)の活用方法の検討 <R3見直し><R7見直し> 旧浜町営業所を引き続き車庫及び休憩施設として活用しながら、より効果的に活用できるよう路線の見直し等を行うとともに、運行に不要となるスペースについては、貸付や売却等を行います。	○	● 局として、将来も使用する見込みがない部分については、今後有効活用を検討することとする。	経営課 バス事業課																				
58	P43	多様な資金調達方法の検討 広告企画やグッズの製作等、新たな事業を実施する場合に、広告料で賄う「ゼロ予算事業」等に積極的に取り組むほか、公募型資金調達などにより市場調達する手法を研究します。	○	● 市電・市バス・シティビューー日乗車券を広告媒体として提供し、当該広告料を製作費用の一部に充てて、経費の節減を図った。 ・市電・市バス・シティビューー日乗車券(かごしま水族館広告入り製作枚数:53,000枚) 製作費用 897,820円(広告料収入 468,600円)	経営課																				
59	P43	電停ネーミングライツ(副呼称命名権)の導入 <R3新規> 電車停留場名に副呼称をつける権利を売却することにより、広告料の増収を図るとともに、企業等に地域貢献やPRの場を提供します。(R4年度 導入済)	○	● 電停に「副呼称」を命名することができる「電停ネーミングライツパートナー」について、令和5年1月から運用している「唐湊電停」、「二中通電停」に加え、令和8年1月1日に「天文館通電停」及び「水族館口電停」において、運用を開始した。 [契約内容] ・鹿児島市交通局：局の費用負担により電停標識・車内放送等で表示・放送する。 ・パートナー：副呼称命名権の取得。 電停内の既存設備や空きスペースを利用した周知広報の実施。 <table><tr><th>電停名(副呼称)</th><th>パートナー</th><th>契約年数</th><th>契約</th></tr><tr><td>天文館通(薩摩蒸気屋前)</td><td>(有)薩摩蒸気屋</td><td>6年間</td><td>新規</td></tr><tr><td>水族館口(萩原技研前)</td><td>(株)萩原技研</td><td>15年間</td><td>新規</td></tr><tr><td>唐湊(小牧建設前)</td><td>小牧建設(株)</td><td>3年間</td><td>継続</td></tr><tr><td>二中通(キラメキテラス前)</td><td>南国殖産(株)</td><td>3年間</td><td>継続</td></tr></table>	電停名(副呼称)	パートナー	契約年数	契約	天文館通(薩摩蒸気屋前)	(有)薩摩蒸気屋	6年間	新規	水族館口(萩原技研前)	(株)萩原技研	15年間	新規	唐湊(小牧建設前)	小牧建設(株)	3年間	継続	二中通(キラメキテラス前)	南国殖産(株)	3年間	継続	経営課
電停名(副呼称)	パートナー	契約年数	契約																						
天文館通(薩摩蒸気屋前)	(有)薩摩蒸気屋	6年間	新規																						
水族館口(萩原技研前)	(株)萩原技研	15年間	新規																						
唐湊(小牧建設前)	小牧建設(株)	3年間	継続																						
二中通(キラメキテラス前)	南国殖産(株)	3年間	継続																						

(5) 組織の活性化

施策No.	計画掲載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課																
60	P43	活力ある職場づくり 職員がやりがいや達成感を持ち、さらに意欲的な接客サービスに繋がるように、優れた取組を行った職員の表彰や、職員提案制度を実施するとともに、技能労務職から事務職等への任用を推進し、職場の活性化を図ります。また、業務改善運動実施計画を策定し、各職場における主体的な業務改善の取組を促進することで、職員のさらなる意識向上を目指します。		○	● 職員表彰を実施した。(令和7年7月1日) ・永年勤続2名 ・接客・案内マナー賞11名 ・無事故記録賞10名 ・功労賞1名 ・マスタードライバー認定1名 ● 業務提案や業務改善実績について募集し、表彰した。 ・募集期間：令和7年7月1日～7月31日 ・業務提案件数：局職員18件 市職員：2件 ・業務改善実績件数(局職員のみ対象)：11件 ・表彰 業務提案：局職員5件、市職員：0件、業務改善実績：11件	総務課																
61	P43	働き方改革等の推進 働きやすい職場環境を整えていくため、長時間の時間外労働の是正や各種休暇制度の活用促進を図ります。		○	● 各種休暇制度の活用・計画的な使用の周知を行い、ワークライフバランスの推進を図った。 <table><tr><th></th><th>人員数 (年度末現在)</th><th>平均 月時間外勤務数</th><th>平均年休 取得日数</th></tr><tr><td>令和7年度</td><td>237人</td><td>30.7時間</td><td>18日</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>223人</td><td>31.2時間</td><td>20日</td></tr><tr><td>増減</td><td>+14人</td><td>△0.5時間</td><td>△2日</td></tr></table>		人員数 (年度末現在)	平均 月時間外勤務数	平均年休 取得日数	令和7年度	237人	30.7時間	18日	令和6年度	223人	31.2時間	20日	増減	+14人	△0.5時間	△2日	総務課
	人員数 (年度末現在)	平均 月時間外勤務数	平均年休 取得日数																			
令和7年度	237人	30.7時間	18日																			
令和6年度	223人	31.2時間	20日																			
増減	+14人	△0.5時間	△2日																			

4 公営交通事業者としての役割を踏まえた事業推進

(1) 交通施策との連携

施策 No.	計 画 掲 載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
62	P44	公共交通不便地対策との連携 交通政策の一環として市が取り組んでいる公共交通不便地対策において、現在交通局が担っている「あいばす」の安定的な運行を行い、生活路線の維持・確保を図ります。	○	● 引き続き、市交通政策課の交通不便地対策事業の一部を受託し、あいばすを運行した。 ＜小原地域：平成29年1月5日運行開始＞ ・運行便数：火・木・土 8便 ・利用実績：計 3,638 人（友愛バス利用者を含めると 4,229 人） 対前年度増減：＋295 人 〔令和6年度実績：3,343人(友愛バス利用者を含めると 3,834 人)〕	バス事業課	
63	P44	路線バスと市電及び各交通機関との結節機能の向上等 ＜R3拡充＞＜R7見直し＞ 市電及びJRとの結節機能を高めるフィーダー路線としての市バスの14番谷山線、17番宇宿線、18番大学病院線、及び桜島フェリーと結節する60番線について、本市の地域公共交通ネットワーク再構築の方針を踏まえ、効率的な運行を図ります。	○	● 引き続き、市電及びJRとの結節機能を高めるフィーダー路線の14番谷山線、17番宇宿線、18番大学病院線を運行した。 ● 「鹿児島市地域公共交通利便増進実施計画」の策定に向けた市交通政策課との協議を踏まえ、同課から提案された17番宇宿線の令和8年度末での廃止に合意した。	バス事業課	

(2) 観光施策との連携

施策 No.	計 画 掲 載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
64	P44	観光地周遊バス運行との連携 観光施策の一環として市が取り組んでいる観光地周遊バス運行において、現在交通局が担っている「カゴシマシティビュー」「サクラジマアイランドビュー」の安定的な運行を行い、観光客等が市街地や桜島を快適に回遊し体感できる交通網づくりに貢献します。	○	● 引き続き、市観光振興課のカゴシマシティビュー運行事業、サクラジマアイランドビュー運行事業に基づき、観光地周遊バスを運行した。 ＜カゴシマシティビュー＞ ・運行便数：1日19便、30分間隔で運行 ・利用実績：318,016 人 対前年度増減：△55,671 人〔令和6年度実績：373,687 人〕 ＜サクラジマアイランドビュー＞ ・運行便数：1日15便、30分間隔で運行 ・利用実績：510,371 人 対前年度増減：+ 60,396 人〔令和6年度実績：449,975 人〕	バス事業課	

(2) 観光施策との連携

施策 No.	計 画 掲 載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
65	P44	「かごでん」の新たな活用 ＜R3見直し＞ 利用者が低迷していることから、観光電車としてのかごでん運行事業を廃止し＜R3年12月 事業廃止＞、観光客を含めた多くの利用者に乗車いただけるよう、通常ダイヤで運行し、本市の観光PRと利用者の増加を図ります。	○	● 観光客のみならず幅広く市民に親しまれる「かごでん」として、引き続き通常運行等に活用した。 ※利用率の低迷等に鑑み、令和3年12月末をもって観光レトロ電車としての活用を廃止。	電車事業課	
66	P44	桜島フェリーとの連携 世界文化遺産や日本ジオパーク登録等により、国内外からの観光客等が増加していることから、市バス・電車・フェリー共通利用券(キュート)制度やオリジナルグッズの相互販売など、桜島フェリー(市船舶局)との連携を継続するとともに、新たな企画等を検討し、観光客等の周遊性の向上と利用促進を図ります。	○	【経営課】 ● 鹿児島市営バス・電車・フェリー共通利用券(CUTE)を販売した。 (本局、市役所前、谷山電停及び桜島営業所) ● 船舶局でサクラジマアイランドビューー日乗車券の委託販売を実施した。 ・船舶局販売実績：大人券 2,255枚、小児券 101枚 対前年度増減：大人券 -489枚、小児券 -24枚 [令和6年度実績：大人券 2,744枚、小児券 125枚] ● オリジナルグッズの相互販売を実施した。 ・販売実績 交通局販売分：実績なし、船舶局販売分：2個 1,800円 ● 船舶局と連携を図りながら、九州MaaSのサービスプラットフォームであるモバイル版アプリ【my route(マイルート)】上での鹿児島市営バス・電車・フェリー共通利用券(モバイル版CUTE)の販売に取り組んだ。 ・販売/利用開始日 令和6年10月1日 ・令和7年度販売実績 ※my route(マイルート)販売分のみ (一日券)・大人：1,101枚 1,431,300円 ・小人：45枚 29,250円 (二日券)・大人：340枚 646,000円 ・小人：4枚 3,800円 (合 計) ・1,490枚 2,110,350円	経営課	
67	P44	新型花電車の製作・運行 ＜R2新規＞＜R3拡充＞ 市観光部局と連携し、新たな花電車の製作に取り組む(R4年度 製作済)とともに、今後は、おはら祭はもとより、他のイベントでの運行など、花電車車両の幅広い活用に取り組めます。	○	● 花3号(令和2年度製作)の台車部分に観光振興課が装飾を施した新型花電車を運行した。 ・運行 令和7年10月21日～11月3日 ・留置き 令和7年11月2日(夜まつり)・11月3日(本まつり) 天文館停留場前 令和7年10月26日(谷山ふるさと祭り) 谷山電停	電車事業課	
68	P44	路面電車観光路線検討との連携 ＜R2新規＞ 観光施策の一環として市が取り組んでいる路面電車観光路線検討において、基本計画の策定に係る技術面からの支援に努めるとともに、策定後は、同計画に基づく具体的な手続き等を進め、観光振興に貢献します。	△	● 路面電車観光路線の市担当課である交通政策課では、本港区エリアの施設整備の動向を踏まえて検討を行うこととしており、交通局としては、県・市の動向を注視しながら、必要な協力等を行っていくこととしている。	電車事業課	

(3) まちづくり施策との連携

施策 No.	計 画 掲 載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
69	P45	防災・危機管理との連携 鹿児島市地域防災計画に基づき、台風等の風水害や桜島での火山爆発などの災害時において、市災害対策本部における各対策部の連携による市バスを用いた避難への迅速な対応など、交通局に課せられた役割を果たします。また、市が実施する桜島火山爆発総合防災訓練などの各種訓練等に参加します。		○	【総務課】 ● 市災害対策本部における各種訓練等に参加した。 ・桜島火山爆発総合防災訓練 ・災害対策本部設置訓練(地震・津波) など 【バス事業課】 ・10月28日 県石油コンビナート等総合防災訓練 1両参加 ・11月15日 桜島火山爆発総合防災訓練 5両参加 ・1月10日 避難所体験・展示訓練 1両参加(吉野中学校) ・2月7日 原子力防災訓練 1両参加	総務課 バス事業課
70	P45	環境施策との連携 <R3拡充> 低公害バスの運行や軌道敷内芝生の維持管理など、環境に配慮した取組を継続し、これらの取組を広くPRするとともに、鹿児島都市圏地球温暖化防止交通対策協議会のエコ通勤推進活動に参加、協力し、公共交通機関への利用転換や利用促進に努めます。また、バス車両の更新にあたっては、可能な限り、鹿児島市環境基本計画に沿って導入する車両を検討します。 [目標指標] 排出ガス規制適合車の割合(バス) (H30末)63.8% →(R13末)97.7%		○	【経営課】 ● 鹿児島都市圏地球温暖化防止交通対策協議会が実施しているエコ通勤推進活動に参加し、引き続き、取組の一環であるエコ通勤特別割引制度に協力した。 ・エコ通勤割引利用実績(延べ利用者数:平成21年11月11日～令和8年3月31日) - 電車:1,598人、バス:11,236人 【電車事業課】 ● 引き続き、市公園緑化課が発注する委託業務により、軌道内芝生の芝刈等の維持管理が実施された。(芝刈装置、散水電車の廃車により、直営での維持管理は5年度まで) 【バス事業課】 ● 地球温暖化防止の取組の一環として、令和7年度は低公害低床型バス1両を購入した。 [目標指標の実績] 排出ガス規制適合車の割合(バス):88.7%(令和8年3月31日時点) 対前年度増減: +0.7% [令和6年度実績:88.0%] ※EVバス2両を除く	経営課 電車事業課 バス事業課

(3) まちづくり施策との連携

施策 No.	計 画 掲 載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課																																																																			
71	P45	福祉施策との連携 今後とも、低床型の車両を積極的に運行するほか、敬老バス・友愛バス制度との連携や運転免許の自主返納に伴う市電・市バスの半額制度への協力、シニア定期券の発行など、高齢者や障害者が気軽に利用できる環境を整え、利用促進に繋がる取組を進めます。 [目標指標] シニア定期券販売枚数 (H30末)2,039枚/年 → (R13末)2,300枚/年		○	【経営課】 ● 市政出前トークでお達者クラブ等を対象に、敬老バス制度やシニア定期券などの利用方法等について説明した。 ・市政出前トーク実施件数：5件 ● 65歳以上の高齢者を対象に、通学定期券の料金で購入できるシニア定期券の販売を行った。 [目標指標の実績] ・シニア定期券販売枚数 <table><tr><th></th><th>電車</th><th>バス</th><th>合計</th></tr><tr><td>R7</td><td>1,303件</td><td>1,489件</td><td>2,792件</td></tr><tr><td>R6</td><td>1,037件</td><td>1,186件</td><td>2,223件</td></tr><tr><td>増減</td><td>266件</td><td>303件</td><td>569件</td></tr></table> ● 運転免許自主返納割引制度への協力を行った。 ・運転免許自主返納割引利用実績 <table><tr><th></th><th>電車</th><th>バス</th><th>合計</th></tr><tr><td>R7</td><td>370件</td><td>1,493件</td><td>1,863件</td></tr><tr><td>R6</td><td>255件</td><td>1,580件</td><td>1,835件</td></tr><tr><td>増減</td><td>115件</td><td>-87件</td><td>28件</td></tr></table> ● 敬老バス・友愛バス制度との連携を行った。 ・敬老バス・友愛バス利用実績 <table><tr><th></th><th colspan="2">電車</th><th colspan="2">バス</th><th colspan="2">合計</th></tr><tr><th></th><th>敬老</th><th>友愛</th><th>敬老</th><th>友愛</th><th>敬老</th><th>友愛</th></tr><tr><td>R7</td><td>1,054,562件</td><td>911,321件</td><td>1,042,566件</td><td>674,184件</td><td>2,097,128件</td><td>1,585,505件</td></tr><tr><td>R6</td><td>1,030,880件</td><td>872,526件</td><td>1,053,130件</td><td>661,639件</td><td>2,084,010件</td><td>1,534,165件</td></tr><tr><td>増減</td><td>23,682件</td><td>38,795件</td><td>-10,564件</td><td>12,545件</td><td>13,118件</td><td>51,340件</td></tr></table> 【電車事業課】 ● 約4本に1本の割合で、低床車両を運行した。 【バス事業課】 ● 一部の小型バス等を除き、全車低床バスで運行した。 ※在籍バス135両中、117両が低床バス、1両がリフト付き大型貸切バス		電車	バス	合計	R7	1,303件	1,489件	2,792件	R6	1,037件	1,186件	2,223件	増減	266件	303件	569件		電車	バス	合計	R7	370件	1,493件	1,863件	R6	255件	1,580件	1,835件	増減	115件	-87件	28件		電車		バス		合計			敬老	友愛	敬老	友愛	敬老	友愛	R7	1,054,562件	911,321件	1,042,566件	674,184件	2,097,128件	1,585,505件	R6	1,030,880件	872,526件	1,053,130件	661,639件	2,084,010件	1,534,165件	増減	23,682件	38,795件	-10,564件	12,545件	13,118件	51,340件	経営課 電車事業課 バス事業課
	電車	バス	合計																																																																						
R7	1,303件	1,489件	2,792件																																																																						
R6	1,037件	1,186件	2,223件																																																																						
増減	266件	303件	569件																																																																						
	電車	バス	合計																																																																						
R7	370件	1,493件	1,863件																																																																						
R6	255件	1,580件	1,835件																																																																						
増減	115件	-87件	28件																																																																						
	電車		バス		合計																																																																				
	敬老	友愛	敬老	友愛	敬老	友愛																																																																			
R7	1,054,562件	911,321件	1,042,566件	674,184件	2,097,128件	1,585,505件																																																																			
R6	1,030,880件	872,526件	1,053,130件	661,639件	2,084,010件	1,534,165件																																																																			
増減	23,682件	38,795件	-10,564件	12,545件	13,118件	51,340件																																																																			
72	P45	都市計画との連携 <R7見直し> かごしまコンパクトなまちづくりプラン(立地適正化計画)に基づき、コンパクトな市街地の形成に資するよう、関係部局と連携を図り、市電・市バスのサービス水準の維持に努めます。		○	【総合企画課】 ● 庁内で開催される会議に出席した。 ・かごしまコンパクトなまちづくりプラン推進庁内会議(令和7年10月20日) 【バス事業課】 ● 団地再生推進事業対象団地の一部(伊敷・伊敷NT・緑ヶ丘・玉里・城山)において、引き続き路線バスを運行した。	総合企画課 バス事業課																																																																			

(3) まちづくり施策との連携

施策 No.	計画 掲載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
73	P45	交通分野におけるDXの推進 <R3新規><R7見直し> 九州MaaSへ参画するとともに、新たな技術開発の動向や国等における実証実験も踏まえながら、市長事務局や他の交通事業者と連携してDXの取組を推進します。		○	【総合企画課】 ● クレジットカードタッチ決済の乗降データや乗降前後の消費活動データ等の分析、その結果のオープンデータ化に取組み、企業の広告や学術研究など一般利用における利用情報の活用を促進するため、局HPに公開するとともに、個人等からの申請を受けてデータを提供した。(個別申請実績 令和7年度:1件) ● 令和6年10月に導入したバス運行データ分析ツールを活用し、効率的・効果的な路線・ダイヤの見直しに取り組んだ。 ● 九州MaaSが開催する勉強会への参加を通じて、国や他事業者のDX化に関する取組について情報収集を行った。 【経営課】 ● JR九州と連携し、九州MaaSのサービスプラットフォームであるモバイル版アプリ「my route」上で、「JR・市電・市バス・シティビュー乗りまわレールきっぷ」の造成・販売を行った。 ・販売/利用開始日 令和8年3月14日 ・令和7年度販売実績 大人:20枚、小児0枚	総合企画課 経営課
74	P45	LRT整備計画の推進 <R3新規> 鹿児島市LRT整備計画に基づき、まちづくりと連携したLRTシステム整備の総合的かつ計画的な推進を図るとともに、適宜、同計画の見直しを行います。		○	● 鹿児島市LRT整備計画に基づき、事業の検討を行った。	電車事業課

(4) 地域社会に根ざした取組

施策 No.	計 画 掲 載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課																				
75	P45	職場体験等やインターンシップの受入 次代を担う中学生・高校生の職場体験や園児学童等の施設見学を通じて、市電・市バス に対する理解と親しみを持ってもらう機会を提供するとともに、インターンシップの受入を 行います。 [目 標 指 数] 職場体験学習アンケート結果で「交通局を選んでよかった」の割合 (H30末)60% → (R13末)100%		○	【総務課】 ● 中学校10校26名、高校6校13名、通所支援事業所7名の職場体験の受入を行った。 ・電車：軽微な車体整備、車両のワックスがけ、運転体験(実走以外)等 ・バス：清掃作業、自動車点検等 対前年度増減：+15名[令和6年度実績：中学校9校25名、高校2校6名] [目標指標の実績] ・職場体験学習アンケート結果で「交通局を選んで良かった」の割合：100% 【電車事業課】 ● 園児学童等の施設見学(資料展示室・市電整備工場)の受入を行った。 <table><tr><th></th><th>施設見学</th><th>小児・小人</th><th>大人</th><th>合計</th></tr><tr><td>R7</td><td>122件</td><td>747人</td><td>589人</td><td>1,336人</td></tr><tr><td>R6</td><td>123件</td><td>705人</td><td>590人</td><td>1,295人</td></tr><tr><td>増減</td><td>-1件</td><td>42人</td><td>-1人</td><td>41人</td></tr></table>		施設見学	小児・小人	大人	合計	R7	122件	747人	589人	1,336人	R6	123件	705人	590人	1,295人	増減	-1件	42人	-1人	41人	総務課 電車事業課
	施設見学	小児・小人	大人	合計																						
R7	122件	747人	589人	1,336人																						
R6	123件	705人	590人	1,295人																						
増減	-1件	42人	-1人	41人																						

(4) 地域社会に根ざした取組

施策 No.	計画 掲載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
76	P45	運転体験等イベントの実施 <R3見直し> 感染症対策に取り組みながら電車運転体験等のイベントを行うことで、多くの方々に直接車両等に触れていただき、親しみ・興味を持っていただく機会を提供します。また、イベント等の検討にあたっては、新規利用者の獲得や乗車マナーの啓発等に向け、適宜、内容の見直しを検討します。		○	【電車事業課】 ●【路面電車の日】かごでんツアー(6月)、市電運転体験(8月[夏休み]、10月[レイルマンス])を実施した。 【バス事業課】 ●バス運転士の仕事に関心を持っていただくことを目的に、バスの展示を行うとともにバス運転士の制服・制帽を着用し、アナウンス体験や写真撮影を行う「市営バス運転士体験」を実施した。 ・令和7年11月23日 まつもとまるっとマルシェ(あいハウジングドーム松元) ・令和7年12月20日～21日 カーボンニュートラルフェア(県民交流センター) ●バスを身近に感じていただくことを目的に、バスの日の制定やバス事業の歴史、交通局所蔵の昔のカラーリングの車両、周遊バス等の写真パネルなどを展示する「市営バスパネル展」を実施した。 ・令和7年9月17日～23日 市営バスパネル展(天文館図書館)	電車事業課 バス事業課
77	P46	職員によるボランティア活動 交通局が地域社会の一員として社会貢献を果たすために、局舎周辺や軌道内の清掃活動に取り組むとともに、職場単位や職員個人でのボランティア活動等を支援します。		○	●毎月第4水曜日にボランティア清掃を行った。 ●職員のボランティア休暇の運用。	総務課
78	P46	企業や地域団体との連携 企業や商業施設、地域団体等と連携し、各種イベントへの参加協力や乗車体験等の実施、停留場等付近のマップ作成、グッズの共同開発等に取り組む、地域活性化にも寄与しながら、市電・市バスの魅力向上と収入増を図ります。		○	●九州レイルウェイフェス(熊本アミュ広場)、かごしま乗り物×MaaSフェスタ2025(鹿児島アミュ広場)、カーボンニュートラルフェアinかごしま(カクイックス交流センター)に出店し、グッズを販売することで、市電・市バスをより身近で親しみのあるものとして感じてもらい、県内外からの来場者に市電・市バスのイメージアップを図った。 ・出店期間 九州レイルウェイフェス 令和7年10月25日～26日 かごしま乗り物×MaaSフェスタ2025 令和7年11月22日 カーボンニュートラルフェア 令和7年12月20日～21日 ●一日乗車券の提示等で特典が受けられる「交通局タイアップ店」を掲載した「一日乗車券・24時間乗車券タイアップ店ガイドマップ」(天文館周辺・鹿児島中央駅周辺)を局ホームページへ掲出した。 ・タイアップ店登録数:36店(R8.3.31現在31店) ・運用開始:令和3年8月 ※モバイル乗車券はアプリ内でマップを閲覧し、電子クーポンで特典利用	経営課

(4) 地域社会に根ざした取組

施策 No.	計 画 掲 載	具体的な取組	◎＝実施済(完了)のもの ○＝実施中(継続中)のもの △＝実施時期及び実施内容 を検討中のもの	実施状況	令和7年度実績 (実施内容)	所管課
79	P46	大学等との連携 市と協定を締結している大学や専門学校等と連携し、それぞれの持つ人材や資源、機能等を活用して、若者感覚を取り入れたイベントの実施やグッズの共同開発、デザイン電車の製作等に取り組み、市電・市バスの魅力向上と収入増を図ります。	○	【経営課】 ● 令和5・6年度に鹿児島大学と連携し、学生(若い世代)の感覚を取り入れた交通局オリジナルグッズの共同開発に取り組み、学生が企画・デザインしたトートバッグ(3種類)について、販売を開始した。 発売開始日：令和7年4月1日 (参加学生数)29名 (研究期間)令和5年4月10日～令和7年3月31日 令和7年度販売実績：914枚 【電車事業課】 ● 鹿児島情報高校レオクラブと協働で作成した乗車マナー啓発動画を YouTubeで公開している。	経営課 電車事業課	
80	P46	資料展示室のリニューアル <R2新規> 多くの市民の方々等に繰り返し訪れていただけるよう、供用開始から一定期間が経過している局舎3階の資料展示室について、展示品の入れ替えや年表等の書き換えなど、全体的なリニューアルを検討します。	○	● 展示品の入れ替え等について、実施時期等を含め検討を行った。	総務課	
81	P46	交通局発足100周年記念事業 <R3新規> 令和10年に迎える交通局発足100周年に向けて、記念事業を検討します。	△	—	総合企画課	

目標指標達成状況

基本目標・目標指標		基準値 (H30年度末) a	➡	目標値 (R13年度末) b	R7年度末値 c	進捗率 ※1 等
1 安全運行の推進						
	有責事故件数(電車)	10件/年	➡	欄外に記載 ※3	14件	×(7年度目標値:4件)
	有責事故件数(バス)	30件/年 ※2	➡	欄外に記載 ※3	19件	○(7年度目標値:23件)
	健診結果が要治療等である者の健康相談への参加率	63.0%	➡	100%	89.9%	72.7%
	センターポール照明のLED化	—	➡	100%	100.0%	100.0%
2 快適で便利なサービスの提供						
	バリアフリー対応車両の割合(電車・バス)	64.3%	➡	74.2%	71.1%	68.7%
	電車車内握り棒の設置	15両	➡	46両	46両	100.0%
	モバイルバス販売枚数(モバイル定期券を除く)	—	➡	17,000枚/年	17,704枚	104.1%
3 経営基盤の強化						
	資金不足比率 (新)	0%以下	➡	20%未満	△5.6%	○
	貸切バスの利用件数 (新)	462件/年	➡	465件/年	275件/年	△187件(前年度比+44件)
	車体広告の年間稼働率	72.3%	➡	90.0%	89.1%	94.9%
4 公営交通事業者としての役割を踏まえた事業推進						
	シニア定期券販売枚数	2,039枚/年	➡	2,300枚/年	2,792枚	288.5%
	排出ガス規制適合車の割合(バス) ※4	63.8%	➡	97.7%	88.7%	73.5%
	職場体験学習アンケート結果で「交通局を選んでよかった」の割合	60.0%	➡	100.0%	100.0%	100.0%

※1 進捗率 計算式: $\frac{c - a}{b - a} \times 100$

※2 「有責事故件数(バス)」の基準値30件/年は、H30年度末の実績値44件/年から路線移譲による事業規模の縮小を考慮して定めた値

※3 市電の目標値は、基準値10件/年から計画期間内において毎年度1件ずつ逓減した値(H30:10件…R7:4件 R8:3件 R9:2件 R10:1件 R11:0件…R13:0件)

※3 市バスの目標値は、基準値30件/年から計画期間内において毎年度1件ずつ逓減した値(H30:30件…R7:23件 R8:22件 R9:21件 R10:20件 R11:19件 R12:18件 R13:17件)

※4 EVバス2両を除いた割合